**| 内院共本會議を休み** 

足すべきものであらう とり化粧品気が設り変むらうこと はないと思ふ、文粉採のことに 午 町九時五十分胡臍、清水留三郎はないと思ふ、文粉採のことに 午 町九時五十分胡臍、清水留三郎 はかいと思ふが、日徽の祭 …分科齋(大郎復所音)は十三日ととはないと思ふが、日徽の祭

法案委員會肥料業統制

にて西工省所営の継続を終り十 第二分科會

大)は農村建築増額の必要を説い

大楽器発に施する所見を質し答

を答へ、次いで杉山元治即氏(社

分科會を開

之を確堪一致可決 天皇陛下

即十時より宮中東層間に定例

原案を承認すべきものなり、

東京電話] 概密院は 天皇

結果に関し

り委員曹の都重經過順にその

**製造形殖館社は特別報館が終ると | はこれにさきだつて新設館社の間 | に於いて第一回の委践館を聞く** 

安員長及委員を任命

個で行本合言義政権と、衆主義政長部に最氏と 一統した 一般で変成長及び泰典を左の如く他に削立に決定したが進音所で、立英層奏政艦を設け、十四日本版 とになつたが、總書所では十二日

さへ彩融売を通過すれば磐角艦艦の重要法案を初めその他の戯冊縁を楽がいの影響が終了するかどうかは危ぶまれてゐるが、併し豫算案

鮮滿拓殖會社

創立準備委員會

は手持無沙汰の状態である、この間に本線館の復期は早くも半ばを

**認過し既に後半に入ることになつたので、果して二十四日までに證** 

村曽が明かれるのみで後鼻薬、法律案が柴龍院から姿削されるまで

目下法律衆も一性もなく難る閑散で、十三日は決算委員館の分

しても東京窓に魅する態度決定までは難く見数り脱憾の含め、戦船と各権・原本を全に関する態度決定に関付けと云ふ興である。取成院は各権・原本を全部も依米権院に関付けと云ふ興である。取成院は一番のような、とな

政府は極めて樂觀す

問題に不穩文書取締法案と

退職積立金法案の二つ

會の峠は見えた

七十四衆のうち七百五十四衆を獲 西南派の領袖

央に雄飛せずして終つた、最近のの開京政僚に無んぜられ、遂に中 に結み止まつて今日に及んだが巨 窓てたが依然北上を持る世子医泉

は超激民氏逝去に對し来た公司は【南京十一日同盟】国民政府常局 照も百利に展開するものとして表 石氏の誌一工作促進、反將運動議 遊民氏の恋去により譜蔵を失つた なく意見需要を述べてゐるが、胡

もハードカラーをし

は少からの差動は発れぬものと見っ面沈黙を守りつい差談してゐる星部選民氏なき後の西南原陣容に一貫では月間している。

英のマ攻防聯合演習

に顕義を終了するまでは職時編成 府がリピア地方の派遣軍を撤収し 力を顕示すると共に、イタリー政・地中海におけるイギリス海軍の威

三宅氏 従來米級政策は中農た。

人態が築がくれに登つてゐる。 「アッ、おのれ」

酸と見ると、猿のやうな

無限年景は、樹の下へ駈け寄っ

外地米制展の部階監行の必要を知つたらう。

#### 部漢民氏は十日来高加郷のため廣 | 原来十二日同盟| 西南派の領袖

明漢民氏逝~

## 十二日午後大時昏睡状態に陥り途 東の自宅において脱穀中だつたが

### 面層脈を突みて反筋運動をつまけ、十二日早朝、開露を中心に華々して脱煙を突破せられ、匯果にあって「を纏めたマルタ騒動師職を変遣の複鑑を重の複響にあって「を纏めたマルタ騒動師職会演習は不可は影響を重の複響 はれて立法院長となつたが、蔣介 ドリス、イタリー 国國艦級の急機 ばれて立法院長となつたが、蔣介 ドリス、イタリー 国国艦級の急機 に國民族の三羽島と宮はねたが、一旦りばを徹して行はれ、十四日末にが、蔣介石、汪獲倫昭氏ととも「〈火茶を切った、演習は三澄夜に 作石田と反動の立場にあったた。明に及ぶ響であるが、この融合面「られる

## 秘密會の内容漏洩で 然意議長二殿重通告

島田農相 その辿りである

「蜘蛛太だなつ」

上げ策と見られるが、こ

「こよひの火飲けは、おのれの仕

藥良児小·

民産教育をご封し 権電ぶ、軍権部隊を否防接受を立、及用司令基礎は十五日上派に向け、東京電話】陸海南次官より富田 権電ぶ、軍権部隊を否防接受を立、政府司令基礎は十五日上派に向け、年後重夏城階外交流・戦福提書は蔣介石田と韓妃の翌で 諸垣秘密曹の内容が展洩して非

四日午後五暦及川佐 出郷の窓である。熊少將も上、山南上、一川市の窓である。

伊佛英日

人角大將歸る

【東京電話】 南洋観響中であった。と厳重なる通告があったので、減

一般を除いて住民政院、跋友郎共に史宗の忠護長りと統領して改居の「九年帝王龍兵北帝院・北山老派殺・履々之に置いて非諸院から史應院に極附され、「二の縁魏法」命委員官委員(各連) よう、一方変統院も今日までの整識からすればその至漢は政府に劉(命され、十三日人城、第一回の委(よう、一方変統院も今日までの整識からすればその至漢は政府に劉(命され、十三日人城、第一回の委譲事能の解は是えてみると言く)鈴木二等主部正は委島鰕艦祀に伊 るるので前途には何等取職はない卓然で、震災を長をするにしても 図面に同意でも、度田資格のいる影響を十分待つて 戦震に出歴する 鈴木二等主計正は委員解監託に任 岡崎慶北知事

行ったが近く副立の話職治難に制 する人事展動について難されてあ

京銀道小作官 | 上陸航行人後の駅略パラオ男で館| 派交渉院を召集し込れが崩敗を漏り飛道小作官 | 上陸航街人後の駅略パラオ男で館| 派交渉院を召集し込れが崩敗を漏り上げる。 また | おおことになつた

時代表は十二百年前アプノール郡

谷相から質問に答ふ

三直組の命に依り急遽 一代表は十二日午後、公式に次の如く當頭した

聯盟脱退の前觸れか 伊の態度

既の利益を進めることを考慮に人

の態度につき感情皆局は十二日非今後理事質に関するイタリー政府定國際政局に一大波紋を投じたが 府は十二日理事働代表引あげを決「ローマ十二日間盟」イタリー政

・ イタリー政府は帰盟理事官の ・ アタリー政府は帰盟理事官の ・ アタリー政府は帰盟理事官の ・ アイテル・ 一型のよりで盛む方 ・ アイテル・ 一型のよりで盛む方 ・ アイテル・ 一型のよりで盛む方 ・ アイテル・ 一型のおりである。 率ゐて所謂エチオビア政府の幽

出席のため片八日午後三時入城・中野金次郎氏(顕迦社長)総舎分大邱へ **時入分半康より錯壊、同三時六 ければ、われ亦人に辛し。三宅第井嗣職校 「四呂午後」)「云ふ踏もちるめぇ。人われ山下第四十座圏長十三日半藤へ** 

き目は、てめえの自楽目得といる。たちに就敬をしてるた配所の流人はおれが成けたんだが、今度の量に、一次郷の名。戦をかけて、自民はれて水の途中や、健能水ければ、われ張人に辛し。―――― 途に見難って水の途中や、健能水ければ、われ張人に辛し。―――― 途に見難って水の道中や、健康に

0

全完中积

遺

+

天地玄黄

ものだ

の時、自分の通 立つてゐるその

害無蓄人

ビール事資の可能性はあるが之、ビール事資の可否に關する件

無論なしなといふ度調では

総ではあるが、突くなと、殺す

號の掛物を引きやギツでやらうと僧を推い収と思つて、馬上から名

はず、文といはず無弊を敗めよ

のは、したとがらくと炎のす

年養は、部下を呼んだ。 強蛇 すると、それを担んで、自分の馬年養は、部下を呼んだ。 強地 すると、それを担んで、自分の馬をさけんだ。

が、火の中で、てめえの子や遮が も生高房と取めてある男だと聞い類の関果は、子にまで禁るといふ 今では、窓峠の行ぶになって、名 まってゐた痛暴の観であったが、 こってゐた痛暴の観であったが、 なんして

が、火の中で、てめえの子や寒が

虫京南

ては再機耐したい。微物全體につい

東京電話】紫龍売度算差世間第一部あつて午後県時二十五分酸質

現在答辯し得る限りの内容を

米穀關係二案委員會

蔣介石氏の統 (製造は調査長)

工作促進

一路篇

花治 滿 作 (121

新綠

V)

n

こがして宙の木の類が疑いだ。

うかどう**幾**多

病魔の囁き

刻々内薄しつ 病魔の尖鉾は

中に母の恋愛

\*あり其質只

蜘蛛の笑ひ

では、水がありた。 「おい、泣き代質、今にみると云 自分の頭上へ避づて来るだけだつったおれのことばか、今にみると云 自分の頭上へ避づて来るだけだつったおれのことばか、今にみると云 自分の頭上へ避づて来るだけだった。

そこで十二日の登算器館とあるの値りであつたが、そこに

うその壁にゐなかつた。

つった。真つ赤な火光の中を走つてななつてある歯の風ひを離りこえてないてある歯の風ひを離りこえていまた脱落な一つの人践があつた。 Ħ 强 削虫殺

> って進む小児 其の堅陣を破 の極屋奇應丸

健康の突撃路

劑虫殺力强 有に部品業店貨育・店廃園全

コセモノから 有社名と マークにと

虫ラブア

その生前関か、今、然然とこの 炎のなかへ駆けつけて来たのべる は、る。年数はいかる~~と数がかる~ とでしまつた。 ―― 利那に、彼の頭 を突き扱くでうに走ったのは、 (健康に来たな!)

新中公司为公 育兒之友 育兒之友 社會黃合屋植、家本





双 ネ 清乳青下ハホナヒキカカセ ボ にア(ルア) キャッ イ 不で悪食なア 見良シ心質(ロウヒケツシ 動



得る限りの内容を左の如く関かに 馬塲脇相が明かにす

に考慮を要する。

松田高三郎氏(民政)の質問あつ三日午前九時三十分開奮 ○田尻生五氏(政友)政府は財源

かくて政府促出の法律派は部計四

の三理法等、産調展理能和法案、 窓、國系影響遊游記保護法案等の エ刀を原治することとなり米畝目 法案、退暖港立会及び退帳手賞法

出法律策委員會を削き法案報顧に

へ合分科画を高いた。一方殿府提 ゐる、総つて今日まで上藝産別と | 三日午前九縣三十分開曹へ合分科画を高いた。一方殿府提 ゐる、総つて今日まで上藝産別と | 三日午前九縣三十分開曹(唐王・殿秘省書)は十四月から合省 医見の討論に入るべ は文字通り法案の法次を提出して 五分科蘭(唐王・殿秘省書)は十四日から合省 医見の討論に入るべ 【東京電話】 深起院寶寶委員會高 衆議院豫算

熱心なる質疑應答

のまから全省を終り対象としなど、紫源院に適助されたので、紫源版では背景の質量を終了したので、紫源版に適助されたので、紫源版に表出したる七年は可決されて野洋の関係を表示したので、大学の大学の大学の大学の

小代謝あり、間局長の講話、脳本 門質代即改選学務局長の調質の訓 四 料学技術内容算長の調質の訓 四

野い緊張ぶりを示してみた。 践つたが、版本析社館談長の監響 き同十時から直ちに日尾の質割に

「小人半額)コースは旋踏より大日動車は壓州、帰國寺共大人一圏 郷で連鎖は緑道一、三等二割引、

即、東村西田屋州、柳西寺、釜山

を悪て機関に陥着するのと、同コ

日午前九時十分から水腹層等勝一辺された代表卅四名を集めて十一

置の遊覧類を仕五日から観覧す

場局では監州が中心とする新疆 | なってゐるので一般の栗町郷で歌

する。 一個を入れ、使用機道行記がとして で表紙には慶州石類能の石像を で表紙には慶州石類能の石像を で表紙には慶州石類能の石像を で表紙には慶州石類能の石像を の表紙には慶州石類能の石像を

一鐵道局の新案切符

既は共十五日間となつてゐる

中央線工事

議刑監督的派地方に朝鮮人機裂事件ありとの風蔵に、東京城部事館警察者から七名の警戒と開始時

軍警調査の結果判明

調査の結果、去る四月廿二日深夜周地ワンコウに肥育九チャンが膨来して四

- スの反路の二つで適用期間は謎

廿九名が慘殺さる

の附近で

慶州廻り遊覧券

愈は甲五日から

|地方中野軍年票貨幣は各道から||時隊式した、脳して運動性は引訴||水原にて自岡特派員||第九回金||水原品階較機の接勝があって十屆|

なは通貨額は京城、龍山、上口

水散、雅川、大郎その他を野廿

即山海軍航空城市連海軍機一機は一

除へ歸還した

者の領山飛行機は十二日午後四時

大村へ還る珍島に不時一面の糞尿は豆城町西部南生霊団が

珍島沖上不時着

部山海軍機

水原で講習會

機構は弱ひ釜山方面に巣中される

とになり、既は平脚、城市剛建

が現場に急行した、詳細不明 報に接し木浦湯より霽開船金剛丸 島島上空を飛翔中越動機に故障を 生じ同島連合に不時着した、有急

西部断生詰所へ扱取りを願つたが

うたが、それも溢れ、画三京城府、査を左記日割で顕行することにな

つた、當日は助紙税の説明器を配

イブセンインク

製へ並ぎついたものである、刷方 とうなの目的に対している。 「ないので、原説師を述べて書 の質胞を明にして感染器度は離る 見れないので、原説師を選べて書 の質胞を明にして感染器度は離る しまった ことになってある、なほこ

上の疑問その他の相談に題じて検査の目的は税令の周知と納付

横領逃走 京水平町四下

**もことになる情様である** 最事預断の中から関下移動せしめ

さいであるが、第一級の舞跳技術

|油に繊疸局では日下 西々準備を

図書されてある。京徳間中央線の 十二日午後三時十分至南珍島郡下

削から一ばいとなり、那落民は四

ヶ所の共同領所を代る人へ使つて 調べると部落一帶の便所は二ヶ月

豆城府では本年の印紙花の集合原

印紙檢查

集めて

卅四代表が緊張受講

発業(資金(所謂大保ಟ)が既に七 | 既に担日と星章プロパラを配した

月間を達成したので「過日之を|天保護と同大同型」をも履すべく

町山八市地一帯の郡洛民が同島長、湯の不証がに質赦して勝平粛滔を安所坐以を代表として「我々の郡」置すると憤慨してある。

京城方面の

は朝京城郷化、汚徳船動があつたとがあり、府當

|年軍令法第五號で制定され

一世の一であり、多分今月中に實施

|東京電話||陸軍では陸軍大學校||大陸軍飛行機協議監督機嫌(四

陸軍當局が研究中

咲

会が、日本の崇高なる税神を知 ず期鮮神宮に意味せしめるといふ

化粧下に

るため各価事項を實行に移して

**営力電に関係制御の徹底圏化をはるので、この際京歌道内にある小** 

は精神鼓吹には多少不満な貼があ一をみた場合は変かすることにな

國體精神の徹底强化

製生、普通學校の生徒は年一度必

けてゐるので、それか一般模糊的

| 神臓を設けてゐるがこれだけで | をさして概念やら同趣能勢が成立

大保錢廢止に次いで

操縦章腹上か

例師柳宮、原城神祇に参拜してゐ らすには神宮器理が最も効果あり

案をたて七二日総督所敬歌的に建

見重の際體密秤に限にり無助飛札

叉心桃花町

汚物溢

5

Ø

正元計』といる學位論文を東大敬

人學 法文學部 数提 騰陽都氏は 理学・法學の三徳士が一度に

の漢水魚浪 の地理的 分布につい

牙畿道内の初等生

とになってゐる

半島最高墨園の春は朗か

日本はもとより世界

んいこも同属と診断、順化院に收

に交も総合製生した、同家に間借た京城城北町二一九半済民さん方

に三國二十九百三十六萬九千八百 元年より十年までの被害懇談は費 被害は次の通りである、何ほ昭和

原子 共演 細君二日 にが 本井 お梅三郎

五月

1111

长加四

四日間

(正午後五時開幕)

・麻糸製五分目 二等 八圓……四分・麻糸製五分目 二等 八圓……四分

八圓一四分二尋

**+** 

誤解睫を呼ぶ男態解氷雨の夜三番

料覽觀

等等等

==-

四四回

を下く関

す 選 込 お

か雅み早

座

TALES A RESTRICTION OF THE PROPERTY OF THE PRO

俄報、一家三人の獅チァスを出し

は順化院で原中、顔民さんが四月 りしてゐる李濟氏さんの兄妹三人

七日死亡し、同町は恐怖におの

▲皇宝三四、四六一、六七八回▲幕帝

密輸撲滅運動

政治との関係を主腹塾に見て行り、政治との関係を主腹塾に見て行り、しかも網幹な製ととを痛急し、しかも網幹な製ととを痛急し、しかも網幹な製としている。

いたが、十二日同家の金元根さ

のチフス基権を出したので東大門容された、かくて関ビ家から週名 割では防度に務めてある

は最近に至るも終熄する原際もな

質に提案することしなった

東京電話】各配路における密輸 大衆魔より適當の時機にお

海事共同委員會動く

脚馬季なので二十二十二世が係員を管 V集合場である管内各脚場の大消 出すなッと防災に務めてゐるが ク今年こそ野内から一名の思議 **密景場府談と協力して行ひ・** は先づ家の周囲を刑能せ 増加し我が海運界の海外進出を阻 めるにとゞまらず船注の資質を は影響は単に我が解戯の品位を低

道教育會から本府へ建議して

昨年の災害

「日夜京城八鴨町附近を入门を

富豪の息子

少年を経路にはか過べ

八判町の泥棒

の買手取締を要請する一方、船上 砂省に隙間、内外における影響品 質協調の名をもつて内砂省加に外

之助氏主素の下に土氏祭を執り行 時より協會財那器出で行司木村は 【東京電話】大相撲通過所初日は

躍進日本の数

的り

募 集 中

\*\*

年加

光光

00

原 東

江画

06

社 犪 六 者の必携薬!

御申込次第カタログ法皇

の場所は国際の

**備商會** 

野十四日から、十三日は午**期** 

元点で上後上の活躍は想像に除

ある、倘は武尉山、高登、能代司

|央語即ち風水西、星雲、螺箱湾の||野しては哲製金をおくる外、

九松 三大 [編 州前 前 川山山 山浪 報告 初日の日

大阪主流大川

宿屋荒し捕る 富玉 騎銃 加南 察和 番大 射五 航金 が 前印 ボッ 山鍋 里岩 川岡 石島 山山 川島 甲湊

府の怠慢に住民憤慨

麟石氏("こ)の金四十五國人り財布 を窃取、行方を施ましてゐたが一 無機会昌強(\*\*二)は数日前時間の威风吸茶屋町八栗屋面船に投宿した 日後本町通で本町署員に機構

十三日朝京城柴越町岩田質店へ洋 萬引して入質

服一省を入賞せんとする男を網路 当成が耐べると、 京城質師町体験 したものと自由した

內科小兒科

E

レントゲン科紫外線

電本二八八〇番

全般天氣豫報

忠南北東の風 壘 曇

壘

京城地方 [今晩] 晒れ 壘

『女博・理博・法博』と一二博士

滕塚、森、尾高三教授の苦心酬ひられて

百国を領取逃走中と判つた、

は開城瀬月町芸皇家の息子で、一と物阻した

城北町のチフス

家四名の患者 東大門署が防疫に懸命

一葉氏方の錠別を確つて侵入、奥

俊名―で、原を入物で10四

我代映畫群**鈴木傳明** 

名餘十八員總

朝

城演

地

圆品罐城京 興

蘭雄清永興

**潭五月信子** 





足の艶を失ひますがたるんで顔や手

一角は 無人をのみ及び

蝕む便秘

貌を

+





城市京 司分地金 男所全銀 主事等 言商山杉

匮贵

錠

当時智



通銀行業務「劉鮮原素銀行代理医賦定期貸付」日本銀行代理医

京城南大門通二丁目百四十番地ノー

にあり)

屋發賣

御會 葬御禮 榳 津

海本金参千萬圓 四 所六十三ヶ所並に内 全郷谷地に支店派出

8 自此 朝鮮 動產 銀行 頭取有賀光豐

末 槌

「春川」四季を通じて参川呂氏の唯一の行樂の吳既として親まれてゐる明陽時の一句

元山の火事

部兄され断急于當をうけ一命はと 午町三時頃頭いらずを多量に勝下

苦悶中を抗極同店に來合せた客に

サイダ、藍人りの正宗をそれか、 一一山った事 一一山った事 一世 かはり出した、め豚組合理事は、郷郷中近く変質をあげて遺質局へ関がほり出した、め豚組合理事は、郷郷中近く変質をあげて遺質局へ

|金昌蝦方属女企氷淑(デ)は十一日

【劉南唐】 析內配井里 天飲食店

所領有を企圖せる兵力未詳の一

し府の保全に労むべきに決す

臭い黑人商

統中、腱つて引火運転置を焼き運削で脳系の機関を借りガソリン樹 |初三百メートルの飲食店季笑光方に向ふ途中、 情城駐在所より東方

**三月十八日に定期總額を開催した。後回理事に對して不満を抱いてる** 「清州」即内外村落金属組合では、とは不都合だと知って激昂しその

初夏の昭陽江…(春)川(た)は(り

は勿論関係方面の間が最も多かつ かつた事件だけに傍聴席は閉気三 が井ಮ物長は型の如く被告郎 即から超端鏡で被告等の家族

異郷に悲戀心中

懸ゆえに前科者と苦界の女

奉天十間房の悲話

包んだ赤ん坊の死體を支那人のボ

禁町一丁目下水滞暗製下にボロに

【新發州】十一日午後二時時間內

下水溝に捨つ

嬰兒の死體

す、而して疲苦等の途附した決て富局の意を質してゐるに過ぎの不正、記帳上の不正等を暴け

(即村) の五名に對し住所氏名を 山口様段に酢糖を勧告した事實

雅 ( 龍城 ) 崔肇平 ( 畝川 ) 金德善 柳爾 (慶州) 金融 (成品) 李相

に避見され附近の際院に増き込一れ入職中父親と死別、削料書であ

| 子こと平誠原治町||七里北雲航電||ら戦神となり金に駒||七軍から百||関にもとめたものである子こと平誠原治町||七里北雲航電||ら戦神となり金に駒||七軍から百||関にもとめたものである子こと平誠原治町||大多情を歌な一人が終る生事を天 府安國利九六生れ後完善、三は市る、男から京韓軍楊州郡の兄にあしる路げられないものと世をはかな

(二)と猫いらずを嚥下苦悶中を家 園を詐取、六ヶ月の家役に處せら

に開起されたが流石に反響の大き 裁判長保、松崎標準立即の下

初夏を迎へて書春の彼女が何故死」ま、縁得人り 他で投身自殿を食てたが通行人に「魔」であた鶏耶百個をたたき嫌しその態見され歴く数はれた、新除繭る」であた鷄耶百個をたたき嫌しその

を選んだか、船魔女は四年前夫と 内国や肚親と些細なとから監略を 財職で、それに挙摘を願いてゐる 生脈して趾の膜下に配つたが生活

したのでいよ!、この世にいや師 拾ひ物

がさし死によって一切を指原せん 何里一金九部 一方點情見與點數 [李惠] 十一日午後一時頃前內鏡

朝鮮な特物だけに同場では直もに ためところん、腐敗してゐるが、 選者に利用たが永年水中にあつた 弾のやらなものを態度、驚いて平 長さ八寸、総部直律称二寸の野間 社別大同江中より砂利を深攻中、



# や雙頭見

未郷地を種に私腹肥やす

體は一つでも道具は二人前

めがけて投資した者があるのを通「【平塩】桁内器町一三五版水道像「石は熊雅智も二人前離はる男兒で一届場に泣き交換器の際は無魏が陳一 (元)は去る六日雙頭見を出直した 【醫院】山内孤龍田里泰傑伊さん一世子共極めて健全である。この珍一方の口に交代に吹ませてある。 しい赤ん切けなく時は二つの中で かくむしい畸形見である

橋の中央部あたりから間夜の海中 [華山] 十二日午即等時頃登山大

醉つ拂ひの亂暴・

沿海州方面の漁場

今は全く平穏

能近別に 店主より 百五十回番 だるしとでもこれでは一年定を光 へないと思びいつそ一思ひにと 数目順偏いにすを求め折をみて あたものであると頭のらちに誤 つてわた

通り

生朝鮮日報支局授李七尾(1)

がいつれる機事水形より個く左の

に定州飯事局に装局された

【釜山】十二年即九時二十二

亦農に判決

求刑よりも 輕く言渡し

今後漁船に危険はあるまい

青年の投身

機機からして支刑人ではないかと

したが死體を包んである衣服の柄

ある魔に疑ひあり犯人捜査に習手

ゆるも瞬の緒を自に二回なっけて

き男子の死闘で一見死産の如くみ

司法保で機能の結束、生役間もな 口拾ひが観見し大騒ぎとなったが

母子とも至極健在

からはじめ特異のタッチを持ち受、西洋誠に力作「早春戦」が北番人 ※本年まで大船揃って速<br />
で四世を<br />
大盛祝祖に十一時式を終った した、夫妻は去る八年の初出品以 組合員を購し 一萬圓を捲上ぐ

したので去る十二日一供書類と共 酸を肥やした定州呂城外海林中一 の湿漉して同小屋居住の鮮な一名から命一萬八千餘廟を帶上げ仏「焼し間九時津蔵火したが避纏のたるから命一萬八千餘廟を帯上げ仏「焼し間九時津蔵火したが避難のたる。 定州の大詐欺事件 汽車の老人

|府内老松町河陽底館に入つたが詞| はれ其後者に相應しい豪華な噂を 日午後六時頃一行中の黒人女が極 ものゝ上陰縣止の厄に遭ひ逃行。 栗せて催れの門司まで辿りついた 十二日朝七時十四分新養州に師習 に製御を買し人車不省、鐵道房間 き出したのに獲猟して飛路り頭部 た所内佐川町朴英(\*o)は汽車が動 した際見送りのため乗り込んであ 釜山風路構内で晋州行列出が設は ◆·····【苯山 初望 に相應しいトピック

ケ枝町二一三光順子店に來て手頭

一級の底をすまして釜山へ上陸・総の底をすまして釜山へ上陸・総 遊館館へ体配したまではよかつた 競学々、養養と心臓 線に有名であり、容 線に有名であり、容 その此を見ない。人 を一つ――斯派州の 多田楽吉さんと言へ の強いことでは天下

一日朝師地した、同船長の報告 --1温麗的近の通風を一切して 記録日洋丸はアメリカ郷ボスロッ 正済のため航海中の水産試験場様

のみで磐배船は影もなく第三葉の開航中一隻の潜水艦を見受けた

「戦海に遠く今後再び間島は起るま」を先続方には三千国総方には六千

附近一帯にあったので漁船も蘇聯 であるが漁田がアメリカ顔から三

十浬ののアスコロ點とウスリー際 といふことで出漁船は現在十五隻

死の消火物を奏し一棟二戸を焼失 して同三時四十分観火した、徹常

せんとしたが常備、養男兩消防災 北方に延期、 類波家屋も一部めに

> 地方法院工業が製芸様で行けれた 判決賞婆しは十二日午後一時大郎

新線を彩る

一百の健兒

大邱青訓戰鬪教練

挑嶢の市街戦展開

では臭いと睨んでゐるやうである

自動車火事

鮮内でご難

ないので全く手を燃いてゐるが割

【大師】 監刑赤色に民組合事件の

理事の親切

組合員に仇

部火したのではないかとみられて

足が洗へず

ネコを呑む 雇女の涙物語

心能を架設してあるものから顕常

であるが指足線引込線から仏殿のドついては目下元山岩で取削べ中 10の大災保険が耐してある、配因 は開家併せて約五千国位であるが

懇談會の雨が祟り

清州郡金組に軋轢

「清津」沿海州の羽船漁業義権と

白洋丸船長の報告

の釣銭を渡し百頭礼を受け取らず 出したので広覧は九十九個四十銭 一個六十銭のものを買ひ百圓礼を 女が銃翼ひに來たので問答してみ 行方を探すところに交も例の無人 そのまし他の客に腮族してある 制に立去りが限になって百閒札の 第四に属出た、 刑事も言葉が通じ んが朝鮮語の通ずる調なく窓に繋

が大阪から朝鮮の北堀新設州へま で肥めした手廻り品のチェッキ

かってたが確に姫路とあるのでいたが確に姫路とあるので になつてゐるのを鑑道館館の柔が 見、語いた御大 が可子へ深々と謎をかけてから経 に散々のご苦心 と特別の機器を振るつて西接時気 ◆……チェッキの慶表を仔細に調 がこれは意外、歯もあらうに振路 - それは風に辭典大言派にも

設定三部工藝に出品せる「静かな 大龍鵬出場「不識」では、大龍鵬出場 北島氏も入選 飛降りて重傷 の持火メキ 残花、老鶯 容器の一 校の走りを落す

蠅·蚤·蚊 醋殺虫液 館本ルートカ C大阪大 房 薬 大 住 安 談

害虫強 専憲持計 日英米猫 効力他の線香の改倍

運廠手藏人林旭與(三)は十日安東

【新藝州】風江縣第五號トラック

省公署の所用で平北野州から豪州

火傷を急つた、臓気約大百囲動手は顔面右手音に全治一週间の 【雪學】十日午後八時半ごろ飛行 會寧の火事

ベルンヤ、アテ王ロアプラハム、「安東で國際高引動ではないかと疑」

言葉通ぜず取調べに困惑

一歳の坊つちゃん

質問の揚げ足とり

公務の執行妨害

近常明日町山田総統の幸文忠(1) 立の潜光所で動いてあること判明 となって武者した。この男は大郎(単版版)を開発力を離れること判明 となって武者した。この男は大郎(単版版)となること判明 となって武者した。この男は大郎(単版版)と正版 関子 の潜光所で動いてあること判明

観した結果と判明

魔の貯水池に

若妻の投身

不遇を悲觀して

才天の書洋

内鮮融和の愛の結晶で

ピアノもお得意

危ふく救助さる

國(元)に続行を酬き自尊がに積ん

公立普通學校四年生金清年暮一。 であつばれ萬丈の気を吐いた快ニ

一部洋画に見事人選の樂をかち得 ユース ――平南平郎郡の川面版列

夫妻で四度入選

清州第一公普校の

泉。が入選した

平鐵角力部 上俵開きに

北堤川小學校長の北島與氏

堤川小學校長

牧野先生等大喜び

は同地東京開発技会類に氏(ま)が

和の壁の結晶であるが洋面は昨年一野精一氏は今年の鮮酸にも第二部

キヌ子夫人との間に生れた内部線| て名流・湯州泉)要通響技訓導校| | 職と明太祖]を出記、これも人職等見識等中語前した茶木縣土費の | [清州] 以北敦道に北る語呼とし| 鑑、間氏 夫人と サ子さんも 同様

島型網資計で握下の海岸に選先置である。

行人が認見、水上器のランチで振

消防手謎の逃降

のではないかと見られてゐる

五名に懲役六月罰金五十圓求刑

無罪の辯論に滿廷興奮

にした、日浦職等富婦使用したも 域部比安公立曹通率校五、六年上 を添へて十一日大郎憲兵隊へ旁北にした、日浦職等富婦使用したも 域部比安公立曹通率校五、六年上 を添へて十一日大郎憲兵隊へ旁北のではないかと見られてゐる 一周は五端皇甫・期間金として金五 して来た

H・マグ 監督 オクス作品

はよく育ち母乳のある見

當な測合に含まれてをります。

ぶに必要な、色々の成分が能も適の乳、人乳の中には赤ちゃんを指

乳兒養護法箇條書

に世外のものなら手数がイ) 緑の乳ならそのまり

には限の乳ー牛の分には牛一髪と云つて母櫃から乳を通して眼

担乳の検査はあてに

局れぬやらに心田くべきである

八階な着想のものでなければなら

告息記で動物息直ではな

霧立のほるさん

マッサージの後

オルで拭きとらねばなりません

すつかり腰る脚の準備が出來たわなり、丈夫にもなります。これで す、少量の融でみがくと美しくも

り、ふとんを被つたりすることは て、彩を閉めきつて火酸をおいた ことです、それに悪いからといつ 美人の要素は配色がよいといる

は、天晴れ一角の者にもなるべし た秀吉は、少年ながらも物に動せ 甚太郎の姿にジッと眼を苦いでゐ

孝高に育てられ、

で引退りましたが、新くして黒田蔵に及び、甚太郎は、上々の首尾

江正美畫

赤道を越へて

演藝等内

選び、昂雷と、 選再び女の眞質 に後ぐ新作東へ

器三半舘

き、それを指先さに水をつけての

類、あど、といふや

業美術 寫眞の場合

やんを育てると一種の病気が出り

流。本《星

むなり、島屋が面に於ては、一家園 れたくその者思如何に依つて薬時 ん、突重武な築後病(消化不良症)

利用して直ちに役立つものである

深めるなんて云ふ風な音想も面日 まれる、それが西菜島奥の生命で 大概に、有いる階級生活者に呼び 連七作人

更に今回の鳥頂蜿蜒黒鷹の揚

(イ) 母の乳なら其のまし吸はせ一臂を楽辿りするものでなく、間で一見は魔滅を起すものであります、 母乳ならば生れてすぐにその**微吸**|に送られるものであります。 通常

破れてしまひ、これで表い構造も、ませんから、乳に腹々停滞して腹。中の滋養物殊に『ヴイタミン』が「交響は同時事気虚になる事があり が入ってゐる恐れがあるので、こ」だ消化しない後に、交新しい乳がせん、その上午乳には色々の酸酸、ませる時は、前に武ませた乳が松 ても赤ちゃんには既はせられませる影動しなければなりませんから、れを消露しなければ不安心で、と一躍じる単になり、質は体も聴なく その消化力が酸や弱くなります、

なるべく四番側の間隔をおきな 授乳は時間を せんがその時には必ず小児科教門

を得て人工業金に終らればなりま しても母乳の出が悪い時には日か (中) 職々の方法を語じてもどう

八ケ月頃からボッ くお始めなさ

て下さし、むやみ

物は何枚着せたいいっかあまり座着させねこと、着

いけません都戦闘で搭選見は くしたり、あまり原治させて

が何かよい義はないでせらかが何かよい義はないでせらかれただと云ふので石津口中薬を有実だと云ふので石津口中薬を 答本田博士をれば口内

間に決心の色を見せて つそれでは、お聞かせ申すわけに

監は、殿のために前死返して御座 ほう。それは如何いふ理由か?」

「むきの個しである(葛萸はレビ」三万至五パーセントの胃酸量とついってだけに家族づれにはあつら「蔵か「ルゴトル」 氏液、若しくは

三万至玉パーセントの晴敏観水の

その言意歌で含歌し、又ヨード丁酸スを除くことを第一としてが配

病、食物の不良等が配因で起るの

であります、これが提供として

製館病、糖院病『アンギナ』白郎・不福生、水線、路、僕等の中海、

一四日から京城朝日座に開演、初

一代女金井小梅 五、スポーク 一代女金井小梅 五、スポーク 一、嘘と呼ぶ男 四、明 一類愛と結婚の書 二、永雨

あすの演し物

近代座|

有田サーカス

病療院につき投棄を乞ふべきもの

勢ひ、それが感情に緩れてきて、 主人面をすれば、又兵衞のはうで は兄弟か 何かの 如くに 思つてみ

丞 變 化 回塞 岡第回

ンゴウ部隊。同

近藤勇

を (中国 を ) を (中

優ペーター・ローン・スタンハク シースタンハク 野田特作日本版

郵生の心魂を傾

一服で

孙庭

博の

容色をで勢力減退女子 神經衰弱 子 宮發育不全 子 神經衰弱 臘のみにても目的を達し得らるにして、婦人特有の諸症款を内にして、婦人特有の諸症款を内本剤は結晶性卵胞ホルモン製剤 能 a man from the リ經濟 正方、仕下りをいあり 第 37 1000 日本東京 1000年 1 0





竹座

山田長正 変質小僧 板

ス超特作 学生に配り五銭 大衆料金十銭

を整調し、健康美を豪揮す。の血行を旺盛ならしめ、月經して、勢力を堵進し、骨盤内にランは女性的特徴を保持

を除き心神を爽快ならしむ。 頭痛、變鬱、倦怠、疲勞等の障碍 は再び正常の如く際められ、且つ は再び正常の知く際められ、且つ

店商 懿 野 塩 社會式株 阿米瓜根本日本旅車 阿根廷取求市班大

一 完本貞子 一 完本貞子

ムス樹 監督

高杉早苗

京城府長谷川町一二一(電離本テル町) 京城府長谷川町一二一(電離本テル町) 中村耳鼻咽喉科 中村萬里 電話本局(2)三三八七番

マイン・ローレル オリバー・ハスタン・ローレル オリバー・ハスタン・ローレル オリバー・ホーン 温管ジエームス・W・ホーン 温管ジエームス・W・ホーン

大學の獅子

YY

三郎 荒木紀 泉河子 外電プロ別電影郎主演 五十鈴佳子 以濠オールトーキー 子賃 し最

小笠原章二郎小笠原章二郎

主演員之前

芳香 無害

大衆庭二子館

ンスでは非常に呼刺となつて、Dodが、しい説明書を無利で送りと

A行日 開間 演

利根川の秋

資果行則正十一時開演し、映画の聖書だり、映画の聖書だり、

高時、東京の職官新聞「彩麗蘭」もので歌作財な、対対電路で語は、東京の歌歌にお歌歌」でを認めて、歌歌歌においます。 東京市戦田 医小部門 こん 大部島 できる でいます かい こん かい でいます かい でいます かい こん かい でいます かい でいます かい でいます かい でいます かい でいます かい でいます かい こん かい でいます かい こん かい でいます かい こん いい 熱帯の薬草で

代子代、発川 V

高血壓と

てんかんかん

映圖

日かぞう

であるがマラソン歴定は一萬米や

来るものでないことである。四ヶ一部鮮新記録は富然であるが僅かで

日本新記録が出る處であつた、

オークル一號・オークル二宗

月以上の鍛錬は是非とも必要であ

製酒で走ることは自分の力を知ら

様なことで僅か一週間や二週間 以前に走つたことがあると云

既内君一人と思ばれるのそれに第 の成離から見てオリンピック選手

一候補である競君と合せて一

民總動員で 至れり盡せりの施設

"新興獨逸"を紹介す ク行前記器 路名取洋之助

のだと熱心なものである。さらか ンピック村、明旦、緑正藤原の暦ブランを出してゐる、これはオリ 保安については野が世長ティテル からの援助中込もあるから、一寸 師殿と一致協力して組織するもの のための優に設備を設ける正確な と思ふとオリンピック大僧の交通 (人)(員) 住事務局のベス 教授等が頭に立つてゐる歐師剧 随官ビヤー氏及ひザウエルブル

のだと眺心なものである、さらか ダ漁組合も見ひに連語をとつて園のかりがあってほそれこを園時も、像楽版派を目識であるし、其他の現実は先づしにあるまいとあ ために、ベルリン市交通組合はて位の選案は先づしばあるまいとあ だめに、ベルリン市交通組合はべ てゐるといふ星手廻しである てお客を訪りする前はを立てしる 内各地への施行の間はおこしら 間が高からは ベルリン市既に 向 の客人と思ふやうにしてくれとい は非常なものでベルリン招待客の つて、すべての外派客を自分の家

の首都を代表するもの

ピック大野場内に参加者及び観客 方法について委成曹へ報告を出し - 4.4を (一) 住身教育のベス (ドイツが今度のオリンピックを利いた) 終だ。 理(解)と関内観光を命

代表するものである。ベルリン市の比較に派た外頭人はその本域を ふぶ嗣を観してゐる、オリンピッ ø

誰が首位打者となる?

手選本日クッヒンリオ バの……よめした胸む

aritetaritetaritetaria Minetaritetaritetaria Minetaritetari

(世)(界) 世界に知られて

「協働者は最も美しい悪無医師問題」 「おいれコンに賞を與べるとを十年以上もやつて来で、バルコンに賞を與べるとを十年以上はオリンピックを増として このバルコンピックを増として このバルコンピックを増として このバルコンピックを増として このバルコンピックを増として このバルコンピックを増として このバルコンピックを増として このバルコンピックを増として この、バーコンピックを増として にも見てもらび、 でした。 庭球戰評

伯林大會豫選

選輯出過選手は10:0九、十兩日行 第十一回國際オリンピック日本は一結果次の選手が決定した 派遣選手決る

はれた整選隊の跋離に基三畿衛の 五千米柳長者全監督師商監 置館出選選手はさられ、十関日行 田寺治 4マラソン荒遊順 4一萬 銀行

遞信對府廳

、若さを永く 美白く! 育てませう 肌健やかに 護りませう

肌の為によい白いとでもツキよく 色味は八つ! 弾力のある和肌に致します ほんのり魅力を堪へさせて ニキビ・白蕉の悩みを消して

#### 後出場される選手に注意したいの にみだらな競走であった、是は今一を好記録と云ひたい があるから注意すべきである トラック競技は推論すべき競走

五千米を走る様に僅かの練習で出一のみが本大會最大の牧極であった 全版を通じて鹿内君の十個競技 **联合手大段昇** 可 医三鳞 洋秀 下 郎三榮部苅 段三智葉

● 0 3 1 A 7 (分)
● 0 3 1 A 7 (分)
● 0 3 2 A 7 (分)
● 1 2 A

五分で感りの選手は盗角整数し蔵 (君の都島と三米八〇くらいのもの像でもつた二者の白君は三時間十 の松島君の十二米〇五、嘉田寺治・銀元の十二米〇五、京田寺治・田の東道・フィルドでは耐光地

しまつた、決勝に入つたのは便か一はなかったが五千米で譲道の罹君 人里東南岩だけで記録は二時間 か十六分九秒三で優勝したことが

オリンピック豫選を見て

4リンピック像選の一番呼動であ | 筋腕を及ぼす線な事が出来ること

だらしないマラソン

では出來ない

ちょつどの練習

初歩の罪手ばかりで興味を失して > 競技参加選手僅か六名でしかも

秀下宮は

洋 ちと かわをるぬり

つくか復進困難で投気も様々に分

締切を十五日まで延長 くので果して最後の態態は誰に落しれてゐる有様である。そこで締切 現在ベス

で四側二分九郎のい、率を示し。 避保古賀君が打散七――安打三 を任打数十二―安打三

すつきり色美白く、キメ郷やかに

そのまゝ美の素となり、若さを生出す 美粧と肌の築養の二作用をもつ一雪印です

さらつと地肌に溶込んで、べとつかず

初夏の微風より

肌に爽

やか

備へませう お場上りに -----ヒゲ剃後に… 無脂肪性

白粉下地に ……… 通學の隱化粧に …… お素肌のまもりに……

どなた襟も

店商吉政保久 京東

新》。)))) 新加線選逐新市級電 名原谷田井田野井中山 名原谷田井田野井中山

が (1) 1 (2

日朝鮮郵船點出帆

小穏文書法案は

昭和十六年には對米五割八分に低下

開館、松田委員長開館を宜し削日

高くの左の如し際外十二地方分

用意あり水野海相(鬱)言明

宋京電話] 宋藏院第二分科爾、 時二十分別館、まつ内形所質

抗日强調

逝去に先だち胡氏筆記さす

11して左の如く無候似抗感に迅速すべき我帝國 産軍の那元質問説の急速なる側立の必要を述べ言 がにその形形ある間を説明した

比率五割八分の劣勢に低下する十六年)においては對アメリカ十六年)においては對アメリカ質をならはなら以一九四一年(昭和質の変力は無償約款資産同等が関係

法案はか二件委員館は十三日午後

氏 (民政) 外國から時

るやうな新らしい打消策を講じない限り取返しのつかない事態に陥るだらうと見られる、この形

經るため提出される時に脱退通告が發せられるのではない。
離虚過過過往二百夜來急に暇雲の如くせキャアの至を觸ひエテオピア併合に哪丁る

暗雲に蔽はる、壽府

院は一四日、上院は十六日それぞ

政府當局は阻職な説明を加へ

間する緊急令を構識する

おける總督告辭

第四分科會開かる

内務關係諸案につき政民協議

大衆生活を脅威する

夕刊後の市况 

> 既に遅い、結核にかりらぬ 注射だと大騒ぎするのでは なつてから、入院だ、薬だい…といわれます。結核に

やう平素から呼吸器を丈夫

四個九

小電に伴つて敷設された機軌鉄道

**家族や友だちや或は隣人の一人** 

内にヴィタミンADを充分補給 つたら、問題の人だちは玄夫な し諏防策を購しておくべきです

が病氣にかくつておることを知

せれには、ハリバのやうな顔

核環防の最捷徑です。 便に且つ永く飽きずに服める

湿めておくことで、これが結 充分に皮膚や粘膜の抵抗力を保健劑を毎日忘れずに服んで

にしておくことが上乘です

に夫丈を器吸呼

、大九八、五〇二 (五九〇、六六二 (五九〇、六六二

產地別

(保証石)

14.1年1

二号大大

百の治療に優る…

+

衆課税に

第三回發表の分

樂に服み續けられます。

なく、胃腸に贈る處もなく、胃腸に贈る處もなく、胃腸に贈る。とは、性の大の小粒で、一日僅か小豆大の小粒で、一日僅か

粒 円 五 が ラ ム が ラ ム ム が ラ ム ム

今週の末、三下り牛を叩きつける

会所線は私を選切り取る金様とサオルは融る▲四年期私の愛す った▲詩の由來につき詩人ヤ に属り船内に野 を往来する遺る 愛の最後の記念 から本まだ半年 作「製養い日職語人ラスツロ ・ヤヴォルが親語 大ラスツロ ☆最後の犠牲者 に魅せられて▲ **拠と石湾の半身** れる失態婦人で ▲その思聴を順 **絶歌のやうな** 

Ab.

参謀長顧識に列席のため東上中で

長等歸任

し書類では誰も出版を引 日』の詩となつたのであ ジエラ製の遺費 る人それが自慰 やつと殴ヶ月期

本町田張元三郡商店あて毎中庭次年近早年 と題する中村博士連小田子は東京日本高品『呼吸 器 揺っ 飯岐は於ける肝油の應用』

東京・大阪 田 邊 商店

巳の1 語の外何

の間聴解決の要點である。語じて

いかという一つの観點が、

認督所一元で

進んでみるか、本所

れは半船内における試験場が

と道との主元的傾向を帯びてあは

希説する通りの内容の擴大量化を用の妙概を認確するとが、總質の

のあるを振歌するのである。試験

一體としての組織機

で映画を見たものである。 類年前、ホリウッドでメリエ教年前、ホリウッドでメリエ

のものとなり得ると認めらる人

者において仔細に研究調査を進め

はないと思はれる。この監督局

元的活動の妙機を設揮するに能

機械の運用といる一覧について、

月成り研究の信地があり、この運

て然るべく、實際問題として組織

様において完全するものあれば、

ほど郷山ある課ではなく継載と概

れを見れば、試験基の数はそれ

れてゐるといふが如きとあれば、 おいて研究なり武能なりが進めら 有機能ならざるものがありはせぬ としての活動と運用とにおいて、 問題である。各地にある試験場が、 ればなられ事柄は、その機構上の

つでも孤立的國立的立場に

鮮致ヶ所に分つて、立底な機関と

さは、總督の希望するが如く、全 意義となる。故にこゝに一考すべ 有機的組織としての運用が至く無

現在のまりにおいて組織機構の運 節が果あらしむべきか、それとも

全然離れて、比較陥容勢に手に入して破策を続けたところが、其のルー

(可認物便郵秤三第

きかといふごつの場合についても

検討の必要があるのであるが、今 に設置されたものもなりとせぬの れて、それほどに必要なきところ

監視門的正場において十分兵

つたのである

アルミニ ユーム

つ重大脳心事として検討しなけ

特種の事情から時の勢ひに利せら

けれども一方においては、ある

地の地理的深象的事情において、

こても、水産試験場にしても、特設

類中策に適應し能き場合なじとせ

れが存置の必要の止むなきものも

わけである。

はその他の都合からして、

ものであり、遅かに之が敗職を行 題品は、その地理的紅象的開係か

必要あつて設置されたところの

設立の目館に副はざるものありと

れば、當然これが封策としての ての試験なり研究なりの質識が、 でとは困難なる事情あるべきも、 希望に傾聴するところあつて然る

へきを思ふ。 元来これら朝鮮の試

## 白金よりも高かった アルミニユーム 今では大衆の龍兒

ユームの旷殿は、褫く関内の常煕に担應するやらになり、本年度差りからは、輸出に向はんとする状。至る姿。金郎アルミニュームで作り上げられようとする時代に遊譲遠して居り、我が国でもアルミニは遺に稼世の慰がある、戦みに一戦の爰応を覗けば、覈繩、鰥顕を初めとして、微光釈より自戦時に 態に医、進步競強を遂げて來たのは、金甌アルミニュームの最近に於ける大戦化であると申さればな 初めとして、萬殿の家庭用具に至る窓アルミニュームが無くてはならねとさへ考へらる」に至つたの **の関係から、今級に眠つた事のないアルミニュームの起、フォークを作つて、ナポレオン三度が、饗意の時代にはアルミニュームの價格はブラチナにも匹ナポレオン三度が、饗意の時代にはアルミニュームの價格はブラチナにも匹** まめる程、容易に手に入らざりし金属で、その利用の価値を搬めて、殆ど各家庭に於ける激所用具を

スの一ボンドを得らる 人間保とな

て居り、其れに襲する電力は、

十ワットのランアを、十一

・ドを用ひて、金髎アルミニュー

名論カ?迷論か?

早起きに三文の徳あり 面日や!物は考へやう

大穏に於て、アルミナの二ボ

となくて、朝鮮満洲に能する阻害

せん、例へば鏡壁などは持て 一を家人が注意せねばなりまけいかものの、細い注意は、

たあんばいですが、何より派

作つておくべきです

起き過ぎて、あまり帯山餌を拾

は悪血競争を用ひたるにせ

ユームなり、吸はボーキサイト

製造するのは、其の般化ア

ルミニュー人が生産するやうになつて来た既には隠れたエピソードがある。其の鸚哥とでも云ふべき断くの如き質用的方面から考へて見る時、非常なる鑑益能がに工業的低廉なる質用を以て、金層ア ものを復古して見る事にしよう。

| エネ人で千八百二十五年、 紀然に しめて全職アルミニュームを得よの方法によつて、ピンの題だ うとする方法が、此の両人に使って大さきのアルミニューム場を作 ておくつかれてから、經濟能に引り上げたのが押も入ったがと、というによって、ピンの題だ。 はオランダ人のエールステッドと つたが高い戦用を投ぜなければ出 金襴アルミニュームを始めて作|

られた眼聴であつたから、第一番 現化マグネシュームを用ひて失敗 部内から破党せればならぬのであ 問いて見ると、勿論家庭内に於 に蟄石を誑ひて失敗し、其の次は を招かす。時間となる何物かを探す

何等の経験を通する事無く、強リーンランドから持つて来たもの 於て、製造法に成功した人として を工業的に作り出せる様な状態に のである、斯くの如く工業館に生 版に、此の製造方法が認見された 出來たものゝ中に。粉末にした白 ンスに於けるヘルール、此の個人 はアメリカに於けるホール、フラ 相異を以て、千八百八十六年二月 ど同時に、僅か二ヶ月の時間配の一で、 いられて居つた化學的方法から し得る大體の目安に、これ迄に 共の南省の間には全然 | 記石であつたが、之はその當時が ームを越り込んだところが、驚く いアルミナ、即ち酸化アルミニエ したので、第三回に試みたのが水 自分の質験室の中でフィゴを

る酸化アルミニュームであるアル つたのである しめて金甌アルミニュームを得よ一分の研究の結果が始めて成功した し、電流を通じて電池分解を行は 残って居るのを健見した次第であったがと云ふ事が分る器である。 マボの底に、銀の橋な小さい玉が のは、其の二人が如何に因縁能か る、此の態見をしたのを取つて自

現在では野の年齢

して將來に及ぼす影響は此處に第一 二の邂逅を遂げた、マゲネシユー

者し、人間の體力が早期に近いて

世界を場けてアルミニュー

から遠くなる壁、増大してゐるの

斯くの如くにして

価格に影響を直接有するのは、此 を要する次第であつて、窓力質の 理観點火するに要するだけの電力

る際統領ながい方を忘れて、吾々

「早期は身心共に」とい

一方三千哩 離れ 年、耐して交其の死んだのも干九、豊重品なりとして、アメリカのワ 爾方共生れたのが千八百六十二年一閏石にも豊へらるべきものであつ で開催な結果を見たのであるが、一はブラチナと河一の戦格であり、 鑑石を用ひて殆ど削時にフランス 人物閲覧に於て、アルミニューム **筒上四年、同じ年であつたといふ。シントン聖寺塔の頭上に、南オン** から出て来るボーキサイトという。は、平八百五十五年の頃のバリの ンスのルボーキスと云ふ小さい山。以上生産する處迄西省して語る事 **ッランスのヘルールの方は、フラ** になり、建在では少くとも一萬頓 六千頓迄内地の製品で聞に合ふ様

吾人日常生活に出るる確々の密其

殿も人室のある拳闘融合を、何故 | 午前中の活動といぶものは、既に

愉快な点槽であると確信してある 音々文明人にとつて示

| 算に叫ばれる生産過剰の呢ひ

度心地いいですな此頃は!どうで

線蔵を出すのは、段素が肥地を破るいよ、経済を含えてるるのが

どく使った時や、何

即ち白米病は、平素は緩慢であ

| 対戦の原素に | 「壁廊わかもと」の名用が最も有効 | の葉房に復立ちます。 | 会修に関いの呼る これに難いては最近各大型や層 施設作用を旺にし、あるのは窓流が、身虚をひ でありますが、極性ペーフエ螺艦 は、盤質を吹着して、施環返院であ をり、前週の増の實験もセの一つ こ、御家庭に常備して服用され、力を増進するが果を測師しますか の | の書類を形式を送して、施環返院 | でありますが、一般性の単純を指しますが、身に関いの概さを選がしますが、自然を作用を旺にし、あるのは窓流が、自然を作用を旺にし、あるのは影流が、自然を作用を旺にし、あるのは影響に対して、一般に関いの概さを進め、鑑内の

して、血色素を分解するからだ

は、何故に朋意後にやらないのか

は數十年の後には重い金属で

識の時間を考へて見るがいょ、作

を吾人生活の上に與ふるかと言ふ

的問題

雅市の遊路は横ね市街の遊歴に 動を担ふて進む項流が固れたこのである。 計選の環流が固れたためである。 部群の都市の特色は資本家的企 変にのである。 都市道路問題

苦しいのであるが、その結果郷に定り都市人口の増加の傾向が決の如き一層図維である、最近決の如き一層図維である、最近 都市となつてゐる、近代都市と合動より護運せし都邑が今日の代的都市であるよりも、日朝年 る土地柄とは都市道路問題のして急激なる被膜をなしつゝ

新来の交通量と交通物、都市計 然来の交通量と交通物、都市計 が上載である。道路計畫日 類で出てしても財政上間超が解 次した、原りこれが変質が選別 標を明立しても財政上間超が解 次した、原りこれが変質が選別 標を明立して中途半期の結果に 終稿に於て中途半期の結果に 終末の交通量と交通物、都市計 包配の問題、橋爽問題、「交叉點の問題、立龍交叉

膨脹傾向にある土地柄では

ユス

『城大文學』五月號を讀む

質用作文講話

月十九日まで、AKから放送した本書は昭和十年四月十二日からと でも泊らず「翻訳わかもと」をでも泊らず「翻訳わかもと」をは近れ、早連続町作録動にて買売り、直度用せしに関もなく全徴域し、仮て小生は「顧なく全徴域し、仮て小生は「顧いかもと」は関係を行いに有 別のものと思って居ましたが、

2000年間の日本では、1000年間では、1000年には、 引越の荷造りは?

と、何人も鑑かざるを得ないので は、億大なる護道を遂げたものだ

ルミニユ

てつべんを飾り付けたことを思へ スのアルミニュームを使つた塔の

入れ、化粧網の方は引出しが あまし物の一つですが、まづ 木の枠が是非人用 肌に荷造りします、部の領はガラガラしないやらにして、 でよく包み、夜具布圏の間に 鏡をはづし、鍵だけ大風回数

**盤で何箇、その中、トランクをつけわばなら収ことは、全** 何間、行李何聞と記録し、

子は何と組合せて何の徹は入た、健時能などははづした展り 簡数を明日にすべきです。ま に各荷物に、番號礼をつけて

れてあるといふ風に、メモを

――脚行ラメカ景風京東 帝の國企野

と人婦年中

お

化粧

らうか、英國総額と戦も作後三時的十一時期に開かれるとがあるだ とは極めて稀で、大弦夕方からで 類のお茶の時間以間に弱かれるこ (以上ハーバース誌より抄譯) 批の説明があつて以来の、最も季で地域上は、あの呪はしい眼登時 人類によつて満たされるであらら 耐な、最も健康な、最も分別ある 校も、正午まで閉鎖しておいて、 就みに、事務所も居飾も工場も 間以内に生産過剰の問題は消滅 午後から始めて見るがいと、一

**混んや、その徳は値かに三文、あ** と言ふわけである

などもこれ

から『事が多い 便秘、貧血、浮腫

モン、穏煙酵素、各種アミノ酸、から知られてゐるビタミン、ホル なほ「髭刺わかもと」には、以前あるからであります。

脚氣を始め

度が

和する機分が、最も多く含まれてレンターゼBといふ、白米派を中といふ、白米派を中

だといる事に一致してをります。

聊を常用して、便通を整へ目家中版を原院しら、『壁籠わかもと』の如き侵勢なヘーフェ巌ら、『壁籠わかもと』の如き侵勢なヘーフェ巌 ますと、内部から自然皮膚が滑かになります

縣に聞き、自家中部語を担して、皮膚が汚くすが、中年以後の婦人の方は更もすれば便働

1年前十時から始まるか、午前七

君も御承知の語、だが、無からす 質に、なんとかにも何分の理とや の相握の快騰を、たつた三文で選 どちらに理屈があるか、それは語 とは抑も話が無罪である。と といふ、猛闘を含んでゐる場で、一般に既は、白米中にリゾレンチン 復して、數時間後には自分で 餌を啄む 様になりま 単で白羽原にない

をしようとはしてゐるが、早起な 私は相蜒らず、出來るだけ早起き 時から始めたらよいではないか

抗力が掘いのと、自米許りは、である人體にも頭影響を及ぼ この猛弾は潜然、白米を常定し ら、他の食物出 よほど緩慢になっ

**脸力精力持續法** 

調ぎらて

併し國民病といはれる勘系は一 株の自米病であり、乳効児など 新の自米病であり、乳効児など 本乳が足りなくて、自米の軍湯 やお別な中毒症狀を起すことは を激烈な中毒症状を起すことは

胞細の者姿をはB 胞細の者若はA

作用でありまして、優良なるへー るのは、強力な細胞脱形質観話

の演業の話を受けることが多いの副食物も多く語らないために、こ別食物も多く語らないために、こ人が、男子よりも粗食に甘んじ、 る所もありますが、日本の家庭婦 で、これは一面婦人の生理から来 生すよりも婦人においといふこと 法目すべきは自然

これから患々、本當の仕事にから 人生四十は、思趣も経験も跳し

「顧問をすれば、必ず層観りがつ」つて、早くも心身に致へを見せ世」が人に顕新得ちが落く、 針仕事」に日本人には、四十歳を初老とい らうといふ時期であります。然る 一之を推防して

りて、私も関類で色々楽を嵌ん 丁字小任町〇〇標が用河きに来 町字小任町〇〇標が用河きに来 日本 としに治らず、其際小松 目分の脚氣と 愛見の消化不良が 同一の療法で 大西照 造

見も此通りで『翻蝶わかもと』で 治つたから一度原まして見たさ いと申されズを説明項田報より り、直をに延ませした。間 質成め、直かに服ませした。間 ちなく便運が好くなり(中略)景 内の緒は螺上で見たさ の優工にも宣修してゐます。御の優工にも宣修してゐます。御明上、「中略」工場 引題き服用中ですが、目下元 が園民の鰹散上で有りません、で有りません、 一に生活派艦を出来ったけ自然に 正位け、期間正しい生商を終ると にして強べてある細胞に対して発達を出 力を供給しなくてはなりません。 でも組分して、銀幣を出際にして緊接を出 をはつて苦いたりません。 でも、銀幣を出際にして緊接を出 がする。とは、有機物やどよくない。 無機物やビタイ、機物を出ても がある必要がありますが、この がある必要がありますが、この がは、活在他们に推映されての のは、活在他们に推映されての のは、活在他们になって のです。 のです。 のでする。 體力能力を特徴する意にはまつ第

**券換引贈寄図**掛 **型**适

掛圖一百萬枚を小學教育助成の爲

が付いてをりますから、お求めの抗は御の事から一次を表別の成は御の事から一次の事から一次の事から一次の事から一次の事から一次の事を有談付の小、その学を有談付の小、といいの学を有談付の小、といいの学を有談付の小、といいの事を有談付の小、といいの事を表別しますから、おいいの事を表別します。

小學校へ寄贈

に「抽頭帯解引数学」

七十八十までの

になって來るのであります。 本類の設國元は東京市学公院大 の實展群東京一七〇〇番)で築 個は廿五日分一國六十銭、八十 と 價は廿五日分一國六十銭、八十

音へ御屈倉下らい

の輸入が本年豊作のため派滅した

パラチフス患者の誕生もあり、下「日直脳難節乳に公園、道公園を召るが、現に慰瘡の外に獅チフス、「飯輿」威爾衛生奮局では六月太

「抗等の異敗な増加になり器配に

葛麻を視察の高山東拓總裁

削減の一途を辿りつくあり更にこ れを更生部落についてみるに要整

躍進會寧の諸懸案

悉く願望成就

本府、道との交渉に成功

如才のない

資する所述大である、面して本施

維津榮町の 立退家屋

人増と話工事活況による建築用 移入では日用雑貨、縦布紙製 る一時的現象であった。 福州果 | 配度質脆、準防宜性のチラン壁布

於いては前年に期の二十萬面に比

銀十一名の原道。『書が誕生した、 く来るべき問季にだける役革等の「羅津」去る二旦三名、十一日 水溝の施設を訳く現域からみて近

にみるに先づ特部すべきは輸出の一 作の全面的好調を創實に物語つて

一倍半の大用油をみせ相方武術

羅津署大童の防疫

金の首棚を除

局利債の借替と生<u>産資金の貸出し</u>

南季に注意が肝要

院期の七十六四旅廻に比し

較人九六三九七圓▲合二四圓▲鞍出一〇四四 四五六五六圓▲移人一

町副場代の斡旋もあり、十一日都一戦も満く解決した

久しく紛糾を試けてゐたところ、 重なる折断も制定をみるに至らず 国の建物除却補属に不服を唱へ、 | く都計書局の査定通りに建物を

助することに右八名金段が承勤調

印するに至り、都能説初の立場制

輸出は九倍の増加

脱脚支路の調べ

倍増でこれは木材の月髪ましい

出旺盛によるものである権人に

倍半に飛躍

**總計百七十萬圓を突破-**

津港の四月貿易

統長期に配るため収容される

徴収すること」なるが、顕極の保

なほ是非論が唱しかつた原頭作業 9のは實際上極めて僅少となる、

る見込みで、これに伴ひ殿歴使用で安保部党は六月一日から質励され 保吾料は崩滅で徴収し順税、 一等地震には頭モスコー日本大使 人よくなつてゐるよ」とたけで日一等地震がに向け出帆したが、かのやうに「蘇嶼もこの職だんだ人態間五時寛妙に向け出帆したが、かのやうに「蘇嶼もこの職だんだ 「羅南」敦浦町路さいべりで見ばある、なは泰新川班長は記書館の お客さん 蘇聯の將校

いて後以めて伝地に出酸の豫定で

して動目したもので一脚東京に動 飛行職隊へ何れも日蘇交皮將校と

在滿朝鮮人同胞

『理局運輸階長 する結果、現狀に大した繁化をみ 初め酢學似発のため赴けずるシロ

たいであらうといばれてある

5ち四名は順副部級紙売のため、「務打合せを行い殴いて十年以上版1・キンが佐見下五名がありこの」した結英像所造炭」の答用館に事りの能製破発のため赴山するショー提して耐耐事項「領峙の起バに即

重的なへ、ヒチャエフ中間は平原文他の二將校ズバノア大尉は三島

二水型新塑成品度公醫園屋政吉一北宣傳のビラを旅布すると同時に一呆れてゐる

ーは既報の通り来の十五日盛大に 行はれるが特に當日は飛行機で越 【雑南】富山日週日の呼物成北デ

国際に搬った犠牲に對しても考慮しに築動船朝途中の築造三原大佐を

**に頭に成タク及び中川自動車を関してを買收、進んで臨宵図版の書新一幹自動車運輸会を開心にも光彩観「急についた」。** 

く ――威翔の自動癿王、方張勗氏」し更に今春、咸東府内期日タクシ【成異】自動癿王記朝の日は近づ「收合併して現在の威夷タケシーと

**咸南の自動車王** 

平北へも手を延し

方義錫氏覇を唱ふ

多くなつた 驛のお忘れ物

要請解判の職員数を提供する職義(東を使するものと問着されてゐる)技師の副記載技を使って真よ本校。ころその内容に不識、喜識、育卑類の人口では人間者) 悪人に破引、ご意識的学問しての極力を励して、一十一日 曹唯昭立を打つた、元く同、日朝行の皇位で既に助議が今のと「妻内人口では人間者」 馬人に破引、ご意識的学問しての極力を励して、一十一日曹唯昭立を打つた、元く同、日朝行の皇位で既に助議が今のと「妻内人口では人間者」 東人に破引、ご意識的学問しての極力を励して、一十日本府のらて記述師を結構し、人権等「学院文書」「柳城建は土五書の人口では人間者」

廿六驅逐隊

十六扇系統、権に布、章の三辺は集一十六扇系統、権に布、章の三辺は集 **巻へ、十一日午順人前編輯出海、** 丁山入港した観神野港の部の途

維津消防演習 一消防組署学の間は来る十

先づ地質調査

城津鄉軍分會

廿五周年式 助勞者表彰

温井里のボ リング

や列形中の伝れ物がめつきり強え て来た不思議にあまり命目の物は お問合せ下さい 謝狀 前分會長北川二宗▲永年 動態と試於 山下分會長、杉山 即長、山名山雄、西平水站、福 澤、坂田牟一、本間廣言、木村 澤、坂田牟一、本間廣言、木村

七日は威奥第一磐校器常で威雨

雄二港の委任

八月一日から實施の見込

岸壁使用料と保管料は満鐵で徴収

埠頭作業現在通り

らせるが、縁ねて来る者は殆どな である、驟では揚ぶ夜で拾得を知 生用品その他身種りの品が大部分 関物包でも異には四、五回も 山火事の 今後の生活

咸北デー 愈よあす

てしまふらしいので瞬では、ナン トタンに、もう出ないものと決め 下岐川面は奥里の市大事が失人夫小屋約八十戸を全難した咸州郡大小屋約八十戸を全難した咸州郡 は六百五十名の多數に建してゐる

追、八時半から随田皆長の脳懐、 本操は、分別式を行ひ、同十時 八時動画場たる普通學校々節 言論に消防組事殊所即に集合、

姓吉を本部に全満に活躍

自場會産費をあぐ

日石宗教、古徳行、金崎合支部長「は過収終知事來過の廃地元氏と思いて、「「「一」」」と、「「一」」」と、「「一」」」と、「「一」」」と、「「一」」と、「「一」」と、「「一」」と、「「一」」と、「「一」」

**ぜんな夫婦の** 

子供が丈夫か

乳幼兒審査に現はれた

あつさり諦めず

半島文藝」差押へ

州本町山田一郎氏を中心とする同 、興南、和文藝的な集融の少い成別

四水離を迂回して清津へ向つた。

の侵負別と五十名 批製のやうないは が起き脱継がよくの侵負別と五十名 批製のやうないは が起き脱継がら三十起まで避過間の赤ちゃん 年齢、初、経産師・戯から三十起まで避過の赤ちゃん かから三十起まで

つた健康乳が見の、夫は二十五歳からの住員兒が表彰さいる頭龍労働者のの住員兒が表彰さいる頭龍労働者のの住員兒が表彰さいる頭龍労働者の

更に初産兄より經

吸津の 建築界 案外振はず

理、道路離常は記述整備に建築線(現派でかくては事候進停上支壁が順をみた都市部戦争による原制整(ノーマ道常局の指令を仰いでゐる 『外張はないがその態因は光般質 | ではまだ呂部局にも離たる定見な 【城津】 活況を推想されてゐた邑 | く建築許可の方針脈に市街地に於 舞業界は丁事業節に入って以來 | ける建築上の結構性機武器につい 區域未確定が原因

願の定平で

署長さんも出動

現実のため張思北村事務官は八

官視察 を張った

四百間で一千五百本の棚邸に 提計治六萬八千八百本の柳桑を終 った、陸雨適度、活着良好で削途 田定雄氏、組践は「巻一本に瞬 九日好亡、新想ゆ釼丽署に向長白順ニュ公衞を訪れ同夜一

を破りる。 をでした。 (め十) 日級東上 | の十) 日級東上 | の業學校長 間の露定で十二年上で記事の 本計開城支局來 吸中のところれ 那を八出

川県作兵水軍海 ラズ甲古中靴短 3黒 底ムゴク

新市県の約四十戸は立退調品を終一後業務の報告

【羅集】都常地境川は背上事によ

紛糾納まる

「元山」高山東和地域は佐万川事

十四萬九百二十六坪に建

得意滿面の秦邑長

容易ならしめ質量を一月暖点な、年度処生が高を明年大月末までに「嬰と続むる生産資金についても容易ならしとの理あることを単生計 決定する外世生指導温素の単定と「反応負出し、駿河後に郡邑固とり金藤組合の単抗繁樹利を重く、高州低の調査を大量で月末までに「連査協調を図にし恵生職家の職の金融組合の単抗繁樹利を重く、高州低の調査を大量で月夏低の製金額(を帰することに大方賞を決すること 江原道當局の大方針確立 連絡協調を出にし更生農家の職立 整理後は郡邑面との 日満博では素晴らしい人氣 とみられてゐる、なほ同令に載き版本的回頭を購ずる語である 水腫定と同令の市町美化方針に ムスパ 道慶郡内務主任の土産談 區劃整理工事の

消防組の養蠶 組員の植桑には

「年度以命史生命書に置しては火」是「しなほこれと問題に原生上の一部である。

はす近くすーNで、日子を一、でで、一、一、でで、日子が、日子を一、一、でで、一、でで、日子を一、でで、日子を一、でで、一、「日子を一」では、日子で、日子を一、「日子を一、「日子を一、「日子を一、「日子を

部田京提供の形式で興

・ 一大阪 一市價の半値

型皮維恩等」

選本州の意に

経理部からも 早進業寶9圓一書

ア耐具健皮ノノ酸酸精ト文出 リタクトア牛甲式 装加事夫ノ マカガバ全皮部ニモ機線ナ報 ス原子外経療に

靴草總練訓年青龍

錢十五圓三 是

超野 ニケ年以上

が寄附

靴生學革綿一底枚三鬼

十二文治園は

錢十九圓三 是一 靴上搁杖三鬼

四高面で新型計量中の普通型校に動車像が長方義鶴氏は、且下丁型の動車像が長方義鶴氏は、且下丁型の

成興に進出

型チンレフ革總

し悲遠をして一千圏を寄附した 丁子屋支店

三圓五十鹼

同され近くその支庇能数をみる機様のされ近くその支庇能数をみる機様の 年割から除へられてゐるが設立臘 によれば他に **電車県に足一批車** ◆ で **他** 

館六十七日

銀十七回三

上夏

語

定会昌波(\*\*」の三名は四月上山か(\*\*と)黄海道生れ李昌善(\*\*\*) 任所不 日上地域 対 18.00 対 24.00 名版

窗師

三大大会上

(V)

b

製造元東京カメラ製造所名古屋市東區大津町五丁目原然良く富る東京カメラ 遺 昇 所 高 證好二火防水證 元治製アン本式本川
所作製本川
町泡大風中市屋古名

程上げてゐたことが刑場、十一日

金融の金融を

で多数の人に

**り加五十回つ」の脚金** 

北靑卓球大會

上記で各官公割

下は正年から









春川消防組教練

學校 (副質) 三組及び制質) 三 菜津北青山張所品報館は左の通り

で質地収録を加い、三の回

年に背民地に組一級的では十三日









養鶏之日本社(見本三雄男) 巨木



政協力選進することくなった

晋州狹川兩

変し並交に長げ質下に問題で学道内の古参で開直よく部下出一次川署長 在曝二十

八百に近き共闖組合の設置をすまし

慶北道幹部大童の督勵

明確語にして強烈に無中になって

策を篩つた出し物も決定内容を一 ぎ立たす除異は、否則、各個題の 水仁線道起工式の二日間市中を海

【仁川】十五日の祝賀領十六日の

川のお祝

各町競ふて

りは射界好況の波に乗つて日にめ【馬山】ミナト局山湿虹の翻進ぶ さましく、策高山、西高山、北高山

ある

彰され現に従七位動八等の勘察 【永登浦】 始興郡では大京城に際されたこと二回、その他塾次妻 観賞木 盗採取締事動穀助等者として時計を贈具

【その一】十日午後八時半ごろ

大邱コッ泥二件

にわけ機関則の近韓塩で審査をな

しかして十六日の年期と年後二回

十五日を待ち情えてゐる。 妓、花町その他計十七、八ケの新町(海岸町、宮町、海町、海岸町、宮町、本町、磯

し人気者にはそれで、賞品を贈り

般の原則を面じ人家を呼ぶこと

熱心な獎勵から區域に難題

結局互讓的解決

112

る伊達い

所指令の豫定製造高六十萬個に別一

川をやつてゐるが長谷場所長の青一

局聽射擊會

相撲で築く

相撲獎勵會誕生して 華々しく土俵を開く

編成より、主張成準の問題が事、 報の通り實に目覚しいものだが何 阿部内極部長、それに新趣財別の 明殿の金産業部長、明四超弩級の 通した細見地方職長の鮮かな像算 しろ一子萬暉近い大像鼻を安々と

史生の意氣に燃えさし同に燃え農民をして建

英でながら一路振興更生の品を目 は一層に組蔵を終り継々しる

が課長が乗り朝民設置に道



かた際洗ひに東方から現れると、一葉許可あり次第週工の書

建肥造成や燃料深取のSOSに置 里岡に耐し一千三百萬本を機製し取が膨止された人め現在に豪では り、先月二十二部一干九百十七ヶ 言品でもこの母策に頭を悩まして 【大師】昨秋来、落館や支章の郷。依にボブラを指贈させることゝな 廿二ケ郡に一千三百萬本 ラ樹の増植 慶北て一齊に審査

無しその電響を致もの上朝く祝飯 の開節長はいつれも悠父の如今取

用語示罪に光る敏腕として令名あ

曾長の旅遊があつて、奉納取組に 刻く近典をすまし態簡高技、香刷 問題」朝皇書を監督ではさき

製作局権内に設けた上後引きを従 御館が誕生し十二十十後四時から

"長石川墓態,所們皆長石山

署長表彰

と− 軍威、十四日豪城、十八日まで厦州を開州▲金産

清州支部

結核豫防 發會式舉行

り出した早雲對策ニは天災地變調應務課長を陣頭に本格的に報

野から肚して一般の深刻さと人間 野から肚して一般の深刻さと人間 然の意気で選進してゐるが妹に歴 振運動の大庫は摩として大陰北の 新年度早々から道勢振興に

森さんに大人氣

一等(四三島)子川は本年度に遺極的監察性部計設と

殿真で初めは勝言君、可哀相に放 拍手が土 微揚を ゆるが す、一番 んをなげ出してはにかみながらコ 西方から森さんが小力士を蹴づか 「息廃は霧さんの親子相撲」

簡々好天に餌ゑび排底 (三四點) 川上部设 (三四點) 川上部设 (三四點) 川上部设 ▲在郷が人 一等(四三點)子用を施した。人質器は左の通りを施した。人質器は左の通り 四等(三六點)千葉德長、五等、京城作と面付な岡城龍島を取りて長、三等(三七點)村井郡長、 京城作と面付な岡城龍島を取りた野橋、二等(三八點)大竹箸 樹立した陽線上その實施を即に埋

0

りつ放し

見せ、京梁海岸、南海、牧の島方見せ、京梁海岸、南海、北の島方 で服かである、魚は二年子館、チで服かである、魚は二年子館、チで服かである、魚は二年子館、チ 神合から遠く流雲、洛泉江方面が (6れて手も足も出なかつた釜山(||幸山])正月以来不暇の天候にた 太公望喜ぶ

さて山積する重要案は何處へ一

熱意なき釜山府會に暗影

りの好シーズンに釣っアンの血を
升一個五十億の高値ながら久し振 漁場とされてゐる、餌は藻エビー 波かせて四排底の際況である 朝鮮コルク あす操業開始 【菱山】鰥淑する菱山帯感は遺跡。端したま、當局にその後の禁道を「髪、魚山化壁工器、自職職等分品、大部市の體跋を備へたが、階敞で「佐足を整はすばかりで放出間にむ」景の下記してある。 現在までに決談した諸計能案は細 解決、洛東江流水調重等の極めて

**離昂まり堅は耐燃化すのではない** 形足を窓はすばかりで耐配開に此

かとみられてゐる

馬山商業校

卒業の知き全部質り切れたが、なてゐると云ふ状態なので、本年の ほ求人則が多いので削手の卒業中

甲臓症度の學校として資格を備へをり乙極症度の學校であるが優に

丸場合は鍵牙と成前に多大の悪影や後天候の照り込みが観測にゆか

丁は十五日ころと見られてある、

隊によりも連れ道内全部の指揮完

つので一般から非常に就迎されて

本年卒業生

全部賣切れ

脚を語る明 南の重業編 盤

成績は限る良好、實際心質に復立【馬山】廣楽學校卒業生就職後の

常なる活躍を転してゐる

まで引つ殴り風と云ふ跳襲線に異

馬山酒造高

することになり全域した食曜は運がいよく、十五二から作業を開始 輝はれた朝鮮コルタ工薬所では、「永登浦」去る二十八日火災に見 その後工事復憲工作を急いである これもからず形然局は形的の建設 設定などは山梨港質時代からの懸 重要な問題ばかり、殊に細長地區

なく、府僚もまた鳴り物入りで決について着も解決を則する機様は

工場七代、紡能工品五件、琺瑯能

大士 大士 大士 大士 大士 大小 大小 大小 大小 大小 大小 大小 かな数字昨

ンチキを退治 仁川の社會事業團體を

【仁川】府當局では保護事業の取しむのにする體験な社會事業臨時 隣保館中心に統制

批覧事業脚體を結成し、都支動会

の議談を開し出來れば府内の此間

加賀に炭吹してある 加賀に炭吹してある 加賀に炭吹してある 加賀に炭吹してある 加賀に炭吹してある 加賀に炭吹してある 加賀に炭吹してある

發診チフス 野山に緯級

【学山】 置南野山郡大鲵面長生浦

大邱の大泥

日利に振く洗弦は非常時の國防線」が重要し勤と循葉新作帳動とが支折合にず間日は動助れとなつたが も喰ひ遠ひを來したもの、如く新。近く真態的に歩み器り解決の見込 編入により行政に関が態度される 「水管雨」郷他所では巡回京城府 「大郎」南山町六六八前科一加部 一様では、は最近覧々たる紳士を要し 一様では、は最近覧々たる紳士を要し の刑部に限まれな翻での信頼失去月 二十日頃本町二丁自五七金群以氏が 方に使入して金崎計をの他現金信 からいたが、またり 一回こ互る犯行を目供した被害頭で夜間頭越えを手段として前後数除圓を閉取したのを手始めに各所

地番の變更

郵便配達泣く

例年四月中心一齊に實施されるの【「羊山】鹽層單内の壁地棉播観は 林飘動榜)

か今年は天候不順のため町十日程 があるがあり

の申込多数。顔る好成績 『太者が抜鷹基しく、住民や地【馬山】 最近番鳥山方面に街の

を受けてゐるので馬山君では命力からの遊客は一方ならぬ被認 入學児童は男八十名女子部入學者競技、入學式を

【鳥山】十年度週類造石高及び四

著しい激増

明二人るので運動の萬金を開「馬山」中學校では週期供別

百二十七石を増加し、財界好際を 門即、藏出語は清理三百石、燃品 月中の産出価は次の通りで遺石制

百五十件の多製に上り 委員會調停を開始

慶南

釜山結核豫防 年中行事協議

【浦博】近年兒産邀増のため数率 | 行した 浦項小學校 新教室落成

▲米質 一等(三九點)石質関重 は有志の寄附 一第六十段国を投じ 五等(三五點)有別震動通道 は有志の寄附 三第六十段国を投じ 歴完成したので十一日午町-から多数官民参列して落成式を繋

山港躍る 米と石炭を筆頭に 荷動き極めて活潑

比〈て二一、七一○ 随の増加
比〈て二一、七一○ 随の増加

如饗に図映してゐる、重なる荷野を北し經直業職の上にその影響を

際の貨物集散状況は非常な活系

進軍喇叭高らか

るとになったが假数は各種を通じてかって概念する小作野職を調停す

家に沿宿させてゐる。これらの生一五半生十二名、四年生二名散選子

ため稲作の張動が主因であるが 解信旺盛になったのが大きな原 のつ河加、一般原動の高調に 心の河加、一般原動の高調に 心の河加、一般原動の高調に 社が離虚の間、一般原動の高調に 社が離虚の間、一般原動の高調に たのに因る、これ主に北部産取 別本を相居に見たが、値段の間 係上北部物がこれに替ったため 係上北部物がこれに替ったため

建築材料として大萬三干価、その あるので、赤い音響の囚人作業は 工場は、中央校建設地に隣接して、独は同 が判断監察を元たすことが出来な れ等に一個一種六厘で置つてゐる の往交殺到、現在所からは安慰校 定は三月末であつたのを同月 面目くないと一般にその存版性を 点だったが、これに使用したのは 礼は都ら飛物所外壁建造に充てる 八萬偏に遠してゐる、雖遭した娘 回は郎上語展記されて來るばかり 情からも相當の注文あり、こ 控制を演じてゐるこの煉瓦製 は美事に完成した、建製界に 陸地棉播種 慶南道内も 人真五千個で鍵工の豫 今年は遅ら 

忠北解合(十三回

任忠北道衛生技手(陰城、柳山吳、錫

那集中であるが、府内各官公皇【馬山】府では海軍協會と買む

家庭へ店舗へ・ビルのオフイスへ……プラスチック超小型は一

○ での近導を受けて歴事に使事し、既に張な漫跡な跡越及から一場のにするは勿論家長の作業計画には、陶教諭に引奉され十一日顧忠層値能に系統の「真となって歴食を共」ることになり一行は選子、江里日 政方両に壊乱工規之設置し壊五製 「一外九名の継続テフス患者が」「一外九名の継続テフス患者が同じは昨年四月から」の一部落内に去見下切から控制 加はりその間互に知識を交換し低したろへ上り大列車で田鶴した 北京がでも 援助し一家の 野業に 別ぶを受け道段事は監想を提派 宣言 豫則以上の成果ををさめ、本一般明したので重から隣口技手が鍛 繁昌で品不足 馬山刑務所製煉瓦 各方面の需要激増 職となり前年間期に出して實に土は米僧の昂越に伴つてが頭集政治 場に急行防災中 生し三名は死亡した事質が十一 説頃かりを示した 大萬二千八百六上三呎、十一町S 【競山】四月中の鎌山の産米効率 ○遊▲籾一三四、一四四石五八、四一六队▲同九〇、七玄米一〇二、大二二队▲郡米 釜山廻着米 埠頭に山積

郷江瓜田里古に二瀬西西面し馬型 は要業、生行、憲語でもに最良な 以来能平春何名かの生徒を熊本縣|好成龍を懸揚しつくあるので本年 入田」前山間県安では昭和四年| 別を知り顕著に勝選するなと現る

醴山農校の十四名

質地勉强に熊本へ

生徒住込み

内地篤農家に

た。在は且下のところ筋肉の此響、燃へて活動してある。た。在は且下のところ筋肉の此響、燃へて活動してある

- 性能 外観あらゆる點に於て國民受信機としての决定的認品





+

課場影別間

(廣告及宣傳として價値あ昭和十一年六月二十日迄

商業美術寫眞懸賞募集

原東形太平通りは昨秋京政府定館 | 医で門その他は発出のま、とする| の集論の一訳とが発明を置けてゐ| の異詞を派遣し雲 馬中である原東所太平通りは昨秋京政府定館 | 医で門その他は発出のま、とする| の集論の一訳とが発明を置けてゐ| の異詞を派遣し雲 馬中である

李王服では内部の建物その他の副より派遣された衛生局技器に技師し置けてみたが原因の

和上現在の上端を嵌分低くする程。を中心とする一齣と潮辺徹皮積に自殺の最あるため潮辺響より 三間後方へ移されることになるが一については十二日午後上り四弦雀一雄や家族の歌者のため不眼の脚を

令によって孤狂の獲誉者上戦も初 だこ者は三十人名に遠した、腹関と形く感じ自身の異常もが終れ生 第二十期11事 を終すする (二人大勝短)から1手に百名をしてゐる、なは觀避第一中學紀長 第二十期11事 を終すする こと木俣キャ 物入の大部大王勝。 前内外は遠域部に異俗の事故を無

本月中に朝命芸術品製作所も立ち

動質で配った同市銀石町の三分野、結果金原動に依る中部と制質が低。【栗京電話】液松銀「中學校の運」が、微性者の発體を解説に向した

校長は發狂狀態

米の宣路膨脹工事を行つてゐるが つて目下京城府民館附近の約五百 り一帯は半齢のビル紙を出现する 光化門通り から本品

品、食量(工芸技術等による漢文なし) 第二部 『帰屋鑑造株式・倉社製品 キスコウュウ 第二部 『サッボロビー』株式・倉社製品 ナサ ・サッボロビール、清資水料で、筒)

切鮮總督府事賣局製品 舞 人夢嬰

・審査員 まてま

**二月18** ▲一席(各部一名計四名)韓頭加工装術品

展覽會 七月上旬京城三越にて開催の

事整総の職允以二十八萬国を計

當局の許可が遅れると陳情

富局も懸命に努力

といふのである。これに関し直、

隠壽宮の高

はしてゐるが、一方本斯繁務局で | 時局を深く認識自重せねばならね

で随手を延一ある、これと所時に半島の民業も

使つて大物に目を光らせる機構ででは各直警察部の外事係の英質を

を連絡地帯として戦闘、無戦そ

情勢の失蛇化につれて帝國の一ラアク・チェンバー歌りで歌々と

近手段とする、世手や誘惑を幽然 大な報酬命や職業を與へるとを當

年中に酸鍵されたスパイ世俗名は そのスパイ獣の一部と云はれ、ブー の個外面残を防ぐをになった、昨 話綱も元質させ歴的の元質、印機

正 に被称されたスパイ一味の何量前果 ・ では ・

の四月一日大京城の實現を見、

作を行ふことに決定、十三日中島 として協議を重ねてあたがこの程 人夫たちの生活上にも関手である

太平通りの擴張工事進み

京城玄關街の

とす

著、既神殿僧園の出現によって 一野である(意義は巡舞宮の旗)目下華栗中の藍路館館,京城道院 ら第大門に到る幹線は直線となる

一難三倍はに境加し三百人なもる一門町は臓はひ、層の花もこの春は

風終船で押しかける連中に仁川書

の許可機が脱期として所轄署から されて 以來建築許可顧を 提出し いふので、京城材本路組合では四 てもなかく、許可がはかどられと 山月といふ散も建築に適丁る時 京歌道、京城府、各所帰契を訪れ この際今すこし金融を早くされたのとか き存ない状態にあり、なんとか きない状態にあり、なんとか

## 部落民ら騒ぐ 鑛石泥棒のいきさつ

代の影響石を切磋してゐるのを球) 便役してゐるが十二日午後十時間一る者十四名と田剌剛を安認署に同 田職業所では二百日暗名の職夫を一職・事なきを借首認者その他重な「安逸記話」成階安逸都職谷面石「により所黙認から繁官小敷名が出

京城保育學校

年記念前に新校会搭提式を懸行す

中山範士の妙技(計画整理)

金永極を書めたことから同人の観響監督田刺南が襲見事務所に於て

質に巧妙を極めた彼等一味の秘密 當局愈よ一撃粉碎の準備 加計施行の當初

▲福度縣後就館中學 安佐正夫氏山探筋後計日夜平鹽經由奉天へ山探筋後計日夜平鹽經由奉天へ

のがいるものもあるが、 環治一時 れてみるものもあるが、 環治一時 たった。 低弱するか否かのものに 取りおく 迅速に許可してゐるが前記一點に 脱に委ねてゐるものは今まで通り は語る



は自然の事故能に過渡地が過期。 び事中の大もので、この日は遊離 お削の今の資産は誰のと思いか 要 文句・

ら位に思っていたがこんなに獲さ ことがあり今度のよ階別に内容の人だ、上年十二月二十日にも来た 城與江通九雜貨商並魯仁氏方八十 日午後八時後文句の脅迫状が舞込 何れ 近い中に殺してやるからそ い独りで語れるという程手紙が京 突然信仰を挽いて踏り込み店の間

この九〇馬山隆全龍樹(一)の馬がの五五仙島上、建安(そ)万へ青葉町

舞び込む衛屋帰患い怪文別に堪ま ルに揺り込んだ、人に怪我はなか を減量が荒にして馬は壁のオンド

全國有名文具店に有り カタロケ沿岳 加東區領接町 縣域內田洋行

人は十二日夜府内各張に

「凧の景気

西大門町の暗の花三倍に激増

火の石上は全く引つばりだこ、

ろ人手不足で關係者に悲鳴を

に伴う王太邦業の興隆から、支一に勝じ切れぬので現在組合にある

グ戦第四日成績

# 大工さんの短回露はこれです!! 大工さんの短回露はこれです!! 大田から役立つものばかりです。 大田から役立つものばかりです。 大田がら役立つものばかりです。 大田がら役立つものばかりです。

機械無代進星





# 今は新加盟期ですー・京目寫友會 半島の寫眞藝術向上に活躍

河村 四――○ 第一ラウンド

調練贈

の五種目で地方支部十五郎體が参

和船、オワンボート

第二ラウンド

世界的スピースで明健 年的人時半から返江人道職下線道

道局第十一四遊艇大會は十七日

ボートレース

耐

代妻者を定めて左縁獣に専込んで下さい、事が所は京禄日景此内に一門護一ヶ年一囲五十鑓で十門鏡を弾に前野を添くつの腕機として加盟する組織です。前野は京城府内は一腿鎧一ヶ年 全期群局民職間は全鮮の別風愛好者望によって昭和九年に結成され

けふの天気

犬をつなげ

際に帰回近から飛び込んだがに発音面安山里無機金回集(こ

十二百午後七時始

新町稻荷祭り 十五日に賑やかに

中世の組合が主催となり東郷番が、京城新町の程侃祭は来る十五日新 五日新一てそれに質量の許可能明書が

った、この間衝撃りは第町の年中 京蔵道に継ばすることになった。この間衝撃りは第町の年中 京談政氏が発展して西大門部を 京議道に解弾することになった

一二日新義州の移動書祭網に京都 的情化町西一體鹽所の雇人洪龍島

が素麺代型十四を横眉壁踊の途中

を押いられた

これはく

失禮な珍客

書き手を偲 はせる清新 な文字の流れ ATHENA

WWW.

銀城漢 本質住所 京都指加川和西面和 本質住所 京都指加川和西面和 · 西里五百八十九番地

化柳厉專門

※ 京日案内

告に殴り特に豊国にて掲載すらば将金は節納の事但就職協領不十銭匿名は一回毎に五十五十銭匿名は一回毎に五十

・放便 年 総第5四十四端独身政 を贈じて女中文は京朝 御でする 東京和市本局四八○九章へ 東京和市本局四八○九章へ 東海の古天都大仏と ・ 東京大山大山 ・ 東京大山 ・ 東

+

上 員 の外変内的人併設以上 本年通二丁目 向 井 時 計 居 な年前十一時窓本人来談を求む な年前十一時窓本人来談を求む な年前十一時窓本人来談を求む 大年通二丁目 向 井 時 計 居

特約店襲集
特約店襲集
一個所應り特別店を
遊戲子、希望の方は至急等所
に開きなけ来報節項子
・ 朝鮮總版臺部

盛げてみる新聞を傍に退けてしま

、のを待ち梛へて愛子は、手にし

しい以前から既に、幹太の顔を擅

二羽の孔雀(三)

短の光りで一層軸々しい。 愛子の 父親辟太は、愛子が五つの折夫人 よりは若々しい懸い壁の色が、電

> 「お削強が何かつて云ふと、直そ うして作笑あつてゐると、浩介が

> > 同六時三〇分 ラデナ

午前で時一分(第)朝の修養 十五日き、物

同七時三〇分青年の夕

(大) 連織漫画劇 思子の

同八時三〇分(東)漫画と吟詠

歌ふ瀬次喜多

桃しい道で站處に化けた狐に化か木に差しかよった二人、日暮れの

遊された、三島の宿を過ぎ赤坂照

食べたか食べても

午後等時五分一

古川綠波外

十四日番組 一放送 (木曜日)

| 一 | ア (11) | 加勝・咄宮 | 同七時一分(東)朝の修査・参同 | 同七時(今日の天薬息込) | 「一 11」 (十四) 丸山順 同六時三〇分(東) 基礎伊斯 年前六時(東) ラデオ階操

同一の時三〇分 | 家庭藤座 | 泰用| 同九時一五分 氣象通報・料理献立| 同九時一五分 氣象通報・料理献立| 同九時(東)衛生メモ

となりお茶を持つて來た娘の美

川崎と臨湖迄は何の整否もなり

字の増加を告げてゐます。然に 都療地の犯罪は特に年々移し

れからの季節においては『猫つ熊

レンチに依る単になつるまと

二見 勝撃

要もなく娘は繋でおまけに哑であ 互に咽喉自慢をするが大震闘の甲

題の形が夜はなぜかなし、思ふ心

を消し悩みをには、うれか

る力がある! しづめる聖な これだ!

視聴を蒐めた世界酒徒の 酒は! これ

二流争弱血戰

**(5)** 

命木氏一回語二

松鈴

二、童謠獨唱

步角

講

君の三三歩は五三歩成の繼 **最金易二郎** 

◇持時間舎九時間 ◆消費時間

12

【新版】

敵に與へる機は 又自らも

である。こ

鎌の中の近

陳代謝をたかめエキ に体重増加を來し新 血色素数、赤血球並 に臨床實験によれば

エナルモンは動物を

初老期・高齢期の

ルギー、精力を増進

生殖器性神經衰竭、性障害、憂鬱症男性的特徴を發揮し得ざる性徴不よ

青・壯年期に於て

間よ、今時一夜の歌さえぬれる まだ見ぬ影の願いづと、たづわれ

出て言やせれかよソレ、スプチヤ

青薪

無中で飲む酒あどで痛む

有名語にものでは大野リン 意味新 法式會社 木

村

魙

房

で治せ

動脈硬化、腦溢血。 ・生活機能减退、神軽障碍、倦怠感、 ・生活機能減退、神軽障碍、倦怠感、 町修道市阪大 店 商 衛 吳 曼 田 武 懿 元 竇 發 町本市京車 店商衛 吳 新西小懿 店理代東關 斯宮大市崎州 所究研藥器臟社國帝 光檢 元 遺 饗

P

の御料理屋さん!

感醉

優秀を承認せらる 國際的に効力の

(ロンドン中央試験所 ヨエ年七月 生化學職報」ま上、アーンスライニ氏要表 ーカン

9。 は他の比較製品より强力なる事を譲 潮の効力比較試驗」の結果、エナル ルモン委員パークス博士による「男

36-389(O)

のお客様には

**阿里**, 止交島 長韓、仙水、乾坪 十四田県

**西市連絡取出** 

**福里、富里都** 大和組四漕部高行軍門

+

船株式會社

路案内書御送り
野貨客船ニシテ
野貨客船ニシテ

朝鮮理念支店

右昭和拾遺年四月就拾八日营記

在照和指蒙年四月就给七旦智記。

法人父子已公告 法人父子已公告 法人父子已公告 法人父子已公告 於不願此為關於會。於了此至,原來此此不獨正說學一人四季地多會與都是面面門上學說此五番地 等英與那兩獨正體學一人四季地會由 海東都河南部河北西省北京 人名西科尔 网络高温四和抬起中间面

北鮮西船區

度は 背望 (新聞) (東京 ) (東京 )

第二八番

開語一八番 開語順支店 国際回機支店

> 九州郵船株式會社 (出國黑澤用) 電腦 1 01110番

東始り 十六日二六日廿日 西通り 二六日十二日廿日

日 数 出 行《行》被日 "专项人精学 日 ) 本 行《行》被日 "专项人精学 日 ) 本 行《行》被日 "专业" 日 1 本 行《行》被日 "专业" 日 1 本 行》(第一次) 日 1 本 行》(第一》(第一次) 日 1 本 行》(第一》) 日 1 本 行》(第一》) 日 1 本 行》(第一》) 日 1 本 行》(第一》) 日 1 本

院と通りニ御座候間帯を御利用物にと通りニ御座候間帯を御利用物 高杉西店回漕部

朝鮮汽船出州廣告

大月五月廿七 七 日 日 日 日